伝教大師幼形像に朝のご挨拶をする園児たち（比叡山幼稚園にて）

比叡山時報

発行所
比叡山時報社
jihoh@deluxe.ocn.ne.jp
大津市坂本本町4220
郵便番号 520－0116
電話 077－578－0001
宗旨 00970 －2－ 9732
宗教法人延暦寺事務所
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報
叡山講福聚教会
会 報
年度会費（3000円）中に会報（比叡山時報）購読料を含む。

平成26年比叡山の言葉
燈心挑
心に燈火を挑げよう

今月の紙面
＜見開き特集＞
マンガは世界の共通語

延暦寺御用達
森忠法衣店
森忠兵衛
京都市中京区押小路烏丸東入ル
電話 〇七五-二三一-二一〇三番

不条理を生きる

五月、桜前線は津軽海峡を越えて、北国を春爛漫に染めている頃合である。満開のサクラの下に入学や就職した新人達は学校や職場に馴染んでいるだろうか。老婆心ながら上手く馴染めず、ある種の疎外感に悩まされていやしないだろうか、他人事ながら気に懸かることである。「誰も教えてくれない」「誰も相手にしてくれない」「誰も話しかけてくれない」。そんな小さいながらも被害者の意識に苛まれているかも知れない。

筆者は、予てより様々な悲劇、トラブルの背後にこれがあると感じている。

そして、この被害者意識は少々厄介かも知れないとも思っている。相手が悪い、親兄弟が悪い、友だち・周囲が悪い、そして世の中・社会が悪いとなって、自分を免責し、許してしまうからである。被害者意識に取り込まれた、彼もしくは彼女の心は、我欲（良い意味には使われない）や三毒（貪、瞋、癡）に著しく傾いた状況かもしれない。これが極端になり自心の抑制が破れれば自暴自棄に陥って、東京・秋葉原であった、社会を恨んでの無差別殺人の悲劇のように、自他を害する動機付けの端緒になりうることかもしれない。

被害者意識、これこそは宗祖伝教大師お示しの『忘己利他』の対極にある心の状況に思えてならない。すなわち、私的見解に過ぎるとの誇りを恐れずに『忘己利他』の現代的適応を述べれば、自己の利害得失・好き嫌いを抑制して先ずは他者の利便・状況改善に意を用い、そのように行うことと思える。

勿論、自己規制・抑制が過ぎれば自信喪失など病理の世界に陥るが、先ずは『忘己利他』を座右にして、その時々の激情に流されず、自己を客観視すれば、道理に即した有るべき方向に向かえるのではないか。そしてその境地に立っての努力は、必ず『一隅を照らす』の実践となることを信じたい。

世のことは、とかく思い通りには行かないものである。遠近を問わず、彼我に相克・対立の芽は常在し、相手の条理は、こちらの不条理、一人ひとり姿かたち、考えが異なる上は、我欲に傾けば諍いなどは普通に起こることである。吾人はこれを前提に社会を生きていると思い知るべきでもある。

かかる現実なればこそ、なるべく被害者意識に染まらず、伝教大師の御教えに耳したごうて日々過ごすことを大切にしたいものである。何をしてもらえるかよりも、何をしてあげられるか、するべきかに方向を変えたい。さすれば、写真に写る若人たちには活力に満ち、そして安穏に過ごす未来が期待できるであろう。日々勢いを増し成長する青葉のごとく、目標に向かって進めると考えるが、いかが。

時事僧論

森川宏映

比叡山中学校と同高等学校は、近く一ヶ所に統合される予定であるが、今は同じ坂本でも離れており、朝礼も別々に行われ、夫れ夫れが称える『般若心経』が、マイクを通して坂本の街全体に届き、「心経の街　坂本」だと私自身在職中に感じたものである。

殊に高校は山手にあり、坂本の街を一望することができるだけに、恐らく心経の声も、津々浦々にまで届いていた事と思う。

最近聞いたことだが、ある人がその『般若心経』を聞く度に、今も昔も畠に居ようが、草を引いて居ようが、「比叡山と日吉神社に護られているからこそ、私共は災害も少なく、幸せに過ごさせて頂いているのだ」と、手を合わせて一緒に拝んでおられるとのこと。他にも同じような人がおられると思うが、まさに坂本は「心経の街」である。

朝礼は『般若心経』に始まり、校歌、校長訓話と続くが、比叡山の山林の維持と保護をライフワークと心得ていた私が、昭和52年に校長に任命された。もの言わぬ樹林が相手だっただけに話は苦手、それを承知の前任者は「校長訓話は週に一回でよい」とのことでスタートしたが、一週間もすると古参の先生がわざわざ校長室まで来て、「本校の本校たる所以は朝の朝礼にある。その中でも一番大切なのが、校長訓話である。どんな人間になって欲しいのか、それにはどうすべきかを訴え頂いているのだ」と、手る唯一の機会であり、校長の務めである。それを週に一回とは何事ですか」と、責め寄られ、毎日することにしたが、最初の一年は苦労した。

幸い校訓が「一隅を照らす」、「能く行い能く言う」、「己を忘れて他を利する」と、伝教大師のご精神そのものであるので、その時々の話題と結び付けて話すことが出来たが、その訓話もマイクを通して坂本の街に流れ、道行く人々の耳に入る。これも「心経の街」坂本ならではのことと言える。

昨今とくに、世界のあちこちに不穏な空気が漂うだけに、一人でも多くの人が『般若心経』を一緒に称えて欲しいと願わずにはおれない。

（延暦寺一山真蔵院住職）

Spot Light

第49回比叡山仏教文化講座
7月26日（土）延暦寺会館で開催

講師 堀澤祖門（ほりさわそもん）師
三千院門跡第六十二世門主

京都大学経済学部在学中に登叡。得度後比叡山浄土院の侍真僧として、十二年籠山行を満行する。前叡山学院院長

講師 西尾久美子（にしおくみこ）氏
京都女子大学社会学部教授

経営学博士　京都花街研究の第一人者。著書『おもてなしの仕組み－京都花街に学ぶマネジメント』中公文庫等多数。

講師 角淳一（すみじゅんいち）氏
フリーパーソナリティー

関西学院大学商学部卒業後、毎日放送に入社。退社後フリーとして、現在毎日放送「ちちんぷいぷい」他多数出演。

●開催日時
平成26年7月26日（土）10：30～15：50
●定員　450名
●受講料　4000円（昼食含む）
【オプション】延暦寺会館ご宿泊の方のみ
一日回峰行　志納金4000円
早朝坐禅　志納金2000円（別途必要）
※必ず事前に延暦寺会館へご宿泊をお申込み下さい。
延暦寺会館☎077－578－0047
●申込方法　延暦寺事務所教化部内に申し込み希望のお電話を下さい。申込書を送付いたしますので、必要事項をご記入の上、受講料（現金書留又は郵便為替）を添え、お申込み下さい。
●お問合せは延暦寺教化部「比叡山仏教文化講座係」
☎077－578－0001まで

比叡山自動車道 奥比叡ドライブウェイ

音声ガイドで比叡山巡拝
限られた時間で延暦寺をより深く

ガイドブック（上）、付属ペン（左上）、イヤホン（左下）

比叡山延暦寺・比叡山ドライブウェイ株式会社・奥比叡参詣自動車道株式会社からなる比叡山三者協議会では、ただ今、個人向け「音声ガイドブック」の貸し出しを第一駐車場そばの、奥比叡観光事務所にて行っております。

音声ガイドブックは、付属の音声ペンを使用し、諸堂及び関係各所の写真に当てることで、イヤホンから音声が流れ、諸堂を解説してくれるというもの。このガイドブックを使用することで、個人で登叡参拝された方々が、限られた時間内で広大な境内に存在する多くの諸堂を巡ることなく巡拝することが可能になります。

諸堂が建立された謂れや先徳の思いをより深く知ることで、登叡する喜びを一層感じていただければと思います。

音声は、日本語の他、英語、中国語、ハングルの4か国の言葉が選択可能です。お問い合わせは奥比叡参詣自動車道㈱☎077－578－2139まで

団参ご登叡 ありがとうございました

4月

1日　福島・霊山寺
5日　山形・和光院
6日　埼玉・西光寺
12日　神奈川・圓満寺
15日　岡山・第4部霊峰参拝団
16日　岡山・實相寺、第6部合同参拝団
17日　岡山・光乗院、成願寺、常樂寺
18日　茨城・養雲院
20日　兵庫・普光寺、桂谷寺
21日　北総・來迎寺
22日　福島・薬師寺
27日　岡山・本性院
岡山・安養寺
法泉寺、第5部合同参拝団
群馬・東前橋部合同参拝団
岡山・長楽寺
近畿・願成寺
兵庫・圓珠院

総本山駐在布教 お疲れさまでした

4月

【滋賀】森本光瑛、安藏穂行仁、杉中俊和、清水玄周、福山隆道、杉原照真、土田玄照、木村孝英、新保晃妙、梅中堯弘、勝山圓昭【京都】上田覚順、若林節哉、都筑玄恒、穴吹孝浩【近畿】中西真生【兵庫】竹内良明、大塚善仁【東海】加藤眞観【福島】筧広大、和田隆教、山本（敬称略）

お山の行事予定【6月】

1日（日）檀信徒結縁灌頂（第1会・灌頂堂）
1日　国祷会（根本中堂・午前9時）
3日　伝教大師御影供（大講堂・午前10時）
4日　長講会（浄土院・午前10時）伝教大師最澄上人の御命日に法華経の論義法要を勤める。法要後、今年の戸津説法の説法師が天台座主より指名される。
7日（土）第2会　8日（日）第3会
10日　恵心講（元三大師堂・午前11時）
21日（土）第4会　22日（日）第5会
29日（日）第6会

伝教大師ご宝前で 本山得度

宗祖伝教大師のご宝前におきまして、「本山得度」を厳修致します。お大師様の御心を受け「菩薩僧」となる得度の式を総本山延暦寺で希望される方は、左記確認の上お申し込み下さい。

日　時　八月十九日　延暦寺会館に集合・受付
　　八月二十日　式場は浄土院又は釈迦堂
戒　師　天台座主猊下
申込開始日　四月一日
申込締切　七月二十日
申込方法　本山得度申込書に祖廟志納金五万円を添え、法名授与願（別途得度礼録三万円要）と共に教区宗務所へ
持参品として　・白衣・黒素絹・白五条・下駄
　・白足袋・中啓・輪袈裟
問合せ　比叡山延暦寺法務部
TEL〇七七－五七八－〇〇〇一

平成　年　月　日

本山得度申込書（見本）

延暦寺執行　殿

教区　部　寺院　住職
（師僧）　郵便番号　現住所
　僧階　氏名　㊞

本年度執行の本山得度会にて下記の者、得度授戒をお願い致したく申し込みます。

記

法名『　』（朱書のこと）
（得度者）　氏名　㊞
年　月　日生　男・女

願出につき奥印致します。
平成　年　月　日
教区宗務所長　氏名　㊞

日吉山王祭

座主猊下が正式参拝

恒例の祭事で信仰の原点へ

湖国三大祭りとして知られる山王総本宮日吉大社（大津市坂本・馬渕直樹宮司）の例祭「山王祭」が今年も4月12日から14日までの3日間にわたり行われた。

12、13日の各夜には、同坂本の生源寺において、神輿巡行の安全祈願法要が延暦寺僧侶の出仕によって営まれた。法要後、境内には燃え盛る大松明と共に駕輿丁と呼ばれる神輿の担ぎ手たちが勢いよく掛け込み、出仕僧侶が見守る中、点呼である「読み上げ」を披露。

若宮の御生誕を再現した宵宮落とし神事

一人ひとりが雄々しく点呼に応え、颯爽と午の神事（12日）、宵宮落とし神事（13日）にのぞんだ。

翌14日午前には、駕輿丁が担ぐ天上輿に乗った半田孝淳天台座主猊下が、延暦寺内局員とともに滋賀院門跡を出発。満開の桜の下、神仏習合の形を今に伝える正式参拝奉修のため、平安絵巻さながらの行列で日吉大社西本宮へと向かった＝写真上。

西本宮本殿では、馬渕宮司により祝詞が奏上され、神饌が供されたあと、唐櫃から取り出された五色の幣が、出仕僧侶の手を伝い、半田座主から神職へと手渡された＝写真下。

馬渕宮司は、挨拶の中で「日吉山王祭は、大己貴神が唐崎の松に御降臨されたと伝承と、大山咋神と鴨玉依姫のご成婚で若宮がご生誕されたという伝承を再現し、現代に伝え、また未来へと継承していく神事である」と、山王祭の意義を説明すると共に、恒例の祭事を通じ、人々が信仰の原点と回帰することへの重要性を訴えた。

山叡大法の春の比要

宗祖大師謝恩の叡山講行事始まる

横川では慈恵大師御影供も

比叡山延暦寺にも本格的に春が到来し、本年も「叡山講」とも呼ばれる恒例の春の各種法要が、大講堂を始め、全山各諸堂において執り行われた。

『法華経』の修学成果を披露することで、宗祖伝教大師に謝恩の意を捧げる山家会が、4月20日には、午前10より講経論義、午後1時からは六月会法華十講を以って厳修され、講経論義においては、半田孝淳座主猊下並びに森川宏映探題大僧正がご出座され、精義者を勤められた＝写真上。

翌21日10時、同じく大講堂において半田座主大導師のもと、金剛界曼荼羅供が奉修され、法要の間出仕僧侶が読誦する声明が堂内に響き渡っていた＝写真中。

22日、大講堂において営まれた上宮太子講では、延暦寺長臈中山玄晋大僧正が導師を勤め、日本仏教最大の外護者である聖徳太子に講式と呼ばれる声明を以って報恩の誠を捧げた。

また、24日には叡山講福聚教会による「福聚教会の日」も執り行われた（本紙7面において詳細を報告）。

太子講では、茶道石州流により献茶された

一連の春の大法要は、今後も月をまたき、5月26日の日吉大社で修される山王礼拝講まで続けられる。

一方、比叡山横川の元三大師堂においては、4月18日、延暦寺長臈山田能裕大僧正を導師に、慈恵大師御影供が営まれた＝写真下。

法要では、先ず信徒代表らが手ずからお香・供物・茶菓をお供えする伝供が行われ、その後大師の生涯を讃える声明が、独特の拍子と旋律で唱えられた。

キラキラ☆smile

先崎郁美（せんざきいくみ）さん

矢野絢子（やのあやこ）さん

今月は、ゴールデンウィーク中、比叡山西塔で開催された「さくらまつり」に訪れてくれたお二人、写真右から先崎郁美さんと矢野絢子さんをご紹介します。

お二人は現在大阪市内在住で、休日を使っては「世界遺産」を訪れているらしく、すでに近畿中の世界遺産登録された神社仏閣は、ほとんど網羅されたそうだ。

この日はあいにくの雨にも関わらず比叡山を訪れ、期間中「にない堂」において行われた『坐禅』を体験された。

感想をお聞きしたところ、「他の世界遺産と違い、観光や参拝だけでなく、修行も体験できて、感動です」とのお話。「体験ということで時間が短かったので、もっとゆっくり時間をかけて、自分自身と向き合いたい」とのご意見をいただきました。

そこで一般向け修行道場「居士林」での研修をお勧めしたところ、「絶対参加します」と、快く答えてくれた。

心の眼（まなこ）

⑬

吉澤健吉

40年近い新聞記者生活を終え、京都産業大学に奉職して1年が経った。これまで佛教大学での非常勤の教職経験が4年間あるとはいえ、専任教員となるとやはり責任感が違う。毎週、産大で4コマ、佛大で2コマの計6コマ教壇に立っている。還暦をすぎた小生にこれまでの社会経験を若者に還元せよとの天の声だと思い、ありがたく教壇に立たせていただいている。

今の若者は、と嘆くなかれ。学生たちと交流している多くの刺激を受け、学ぶことも多い。マンモス大学の教室は300人、500人という学生を相手にする授業もある。毎回が講演会であり、学生たちを集中させる気迫が求められる。

授業の初めには、お喋りの禁止、スマートフォンの禁止を厳しく言い渡す。3回注意してもきかない学生はレッドカードで退場させる旨、告げる。だいたいの学生が言うことを聞いてくれる。

それでも、時代が変わったなと思うことも多々ある。教室の入口には駅の自動改札と同じ機器があり、学生たちが学生証をかざして入室すると出欠が記録される。授業にはスライド式のパワーポイントを使用し、親切にレジュメを配布しなければならない。授業のあと、就活の学生の相談にのるために、小生の携帯番号と研究室の場所をホワイトボードに書いたら、学生たちはメモをとるでもなし、スマホでカシャと撮影してすませる。

先日は授業中に動画を放映したら、暗闇の教室のあちこちにスマホの明かりが見えたので、紙の筒で片っ端から頭を軽くたたいて注意して回った。自ら墓穴を掘っていることに気づかない幼稚さがかわいらしくもあった。

だが、この学生たちも近い将来、就職し、結婚して人の親となるはずである。『山家学生式』にあるように、よく行いよく言う国宝に育てあげなければならない。そのために修行させていただこうと心に誓った次第である。（京都新聞総合研究所特別理事、京都産業大学教授）

現代学生気質

総本山御用達
籐安田念珠店
本店・京都市中京区寺町六角角 電話(075)221-3735(代表)
本店営業部・京都市中京区御幸町六角上ル 電話(075)223-0023(代表)・FAX(075)221-3730
東京営業所・東京都品川区西五反田3ノ1ノ9 電話(03)3493-2361(代表)・FAX(03)3493-2364
札幌営業所・札幌市中央区北一条西23丁目1-40 電話(011)612-7110 ・FAX(011)612-7120
福岡営業所・福岡市博多区比恵町12-1 電話(092)411-7760 ・FAX(092)411-7748
京都駅 ザ・キューブ店
京都駅前地下街ポルタ店
ホームページアドレス http://www.yasuda-nenju.jp/

総本山比叡山延暦寺御用達
密教法具
専門製作
京仏具 三法堂
〒604-8004 京都市中京区三条小橋東入
TEL 075(221)0553
FAX 075(221)2407
E-mail:info@sanpodo.co.jp

世界の共通語

クール・ジャパン戦略の実践で、世界にマンガを
"マンガ家から学長"竹宮惠子さんに聞く

昨今よく耳にするようになった言葉「クール・ジャパン」。これは、日本政府が主導し、本邦のポップカルチャーや、アイドルグループ、アニメなど、今まで「サブカルチャー」とされていた日本独特の文化を国内外へと発信し、世界進出への促進を推進する戦略政策のことで、文化産業の海外展開支援や人材育成において、現在官民一体の事業が展開されている。

そこで今月の特集は、マンガ家から大学学長となられ、「マンガ」を通じた人材育成を実施されている竹宮惠子さんを取材し、日本が世界に誇る文化とまでなった「マンガ」についてお話を伺った。

本年学長に就任された竹宮惠子さん　撮影：有本真紀

自由自治の京都精華大学

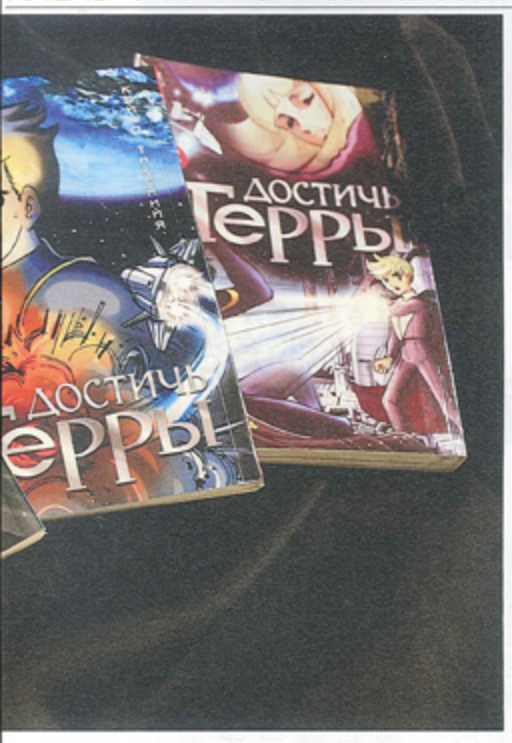
古都京都から叡山電鉄（京福電鉄鞍馬線）に乗り込み「京の奥座敷」と称される鞍馬・貴船へと向かうと、その途中、緑の自然に囲まれた京都精華大学の白いキャンパスが姿を現す。

昭和43（1968年）開校の京都精華大学は、大学院も含めて学生数3700名余りの小さな大学だが、「自由自治」という理念の元、非常に特色のある独自の教育への取り組みを行っている。

先ず、この大学には「校歌」や「校章」、「校門」というものが存在しない（現在は安全面の考慮のため、セキュリティー門は設置されている）。また、2013年には日本で初めて学問として「マンガ」をとらえた「マンガ学部」を開設。日本政府が立ち上げた日本の文化や産業の世界進出を推進する「クール・ジャパン戦略」をいち早く実践し、世界に通用するマンガ家の育成に力を入れている。

そして何より「自由自治」の校風を象徴するのが、「自由選挙」と呼ばれる大学長を選任する選挙だ。この選挙では学内の学生にも学長を選ぶ権利が与えられるという珍しい選挙方式で、教授と学生の距離の近さを如実に伺うことができる。

本年この「自由選挙」によって京都精華大学の学長に選任されたのが、前出の「マンガ学部」の教授として同校で教鞭を執る竹宮惠子さん。既に日本を代表するマンガ家でもある竹宮さんのお名前を耳にすると、マンガファンの方は少年少女のころを思い出し、ときめきを覚えることであろう。



る、『地球へ…』（写真はロシア語版）

マンガ家竹宮惠子

竹宮惠子さんは昭和25（1950年）徳島県徳島市出身。まだ高校生だった1967年、「ここのつの友情」で『COM』月例新人賞に佳作入選。翌年「リンゴの罪」が『週刊マーガレット』の新人賞に佳作入選を果たし、マンガ家としてデビューする。同年4月、親の説得により徳島大学教育学部（現鳴門教育大学）美術科に入学するも、学業と平行して『COM』等への投稿を続ける。1970年、『週刊少女コミック』に「森の子トール」の連載を始め、5月に大学を中退し上京。上京後の1977年には、少女マンガ家でありながら男性マンガ家顔負けの筆致で、SF作品『地球（テラ）へ…』を『月刊マンガ少年』において連載。当時全く問題視されていなかった環境問題と、空想の産物でしかなかったコンピューター世界に独自の目線から焦点を当て、コンピューターに徹底的に管理される人類の危険性にいち早く警笛を鳴らすことで少女マンガとはまったく無縁だった男性読者までもファンに引き込んだ。

1978年、『地球へ…』が第9回星雲賞コミック部門受賞。1980年には、『風と木の詩』『地球へ…』で、第25回小学館漫画賞を受賞。同年、『地球へ…』がアニメ映画化される。

1997年、フランスのブランドである「エルメス」の社長から依頼され、エルメスの社史をマンガにした『エルメスの道』が、当時京都精華大学マンガ学部長であった牧野圭一氏に評価されたことがきっかけとなり、2000年に京都精華大学マンガ学部の教授に就任。マンガ家として日本初の大学の専任教員となった。

近代的にデザインされた京都精華大学の校舎

代表作『地球（テラ）へ…』

『地球へ…』は、今から一千年後のS・D（スペリオル・ドミネーション）という架空の時代の話で、その時代には地球は環境破壊により壊滅的な危機に瀕しており、すでに人類は宇宙へと脱出。すべての意思決定はコンピューターが行うといった、徹底的な管理社会が舞台である。

S・D社会においては、学業も、職業も、結婚も、生き方も、妊娠・出産までもが「マザー」と呼ばれるコンピュータ・ネットワークに管理され、それに従うことが義務づけられている。そして人々も、すべての意志決定を「マザー」に委ねることで心の安穏を得、迷いのない、安全確実な人生を享受していた。が、一方で、人工授精を管理するラボラトリーでは、かなりの高確率で「ミュウ」と呼ばれる突然変異種が誕生する。元々、肉体の不備をもって産まれた彼らは、15歳の時に強制的に行われる「成人検査」によって、念力や透視力、予知能力といった超人的な能力を持つようになり、いつしか「人類の敵」として人間社会から追われるようになる。彼らにはただ地球へと帰還し、人間として人類と共存することが願いなのにもかかわらず…。

絶望と使命感

竹宮さんがこの作品を世に送り出すきっかけは、当時いち早く環境問題の重要性を認識し、ある国際的な「環境サミット」へ参加したことが始まりだそうだ。

竹宮さんが会議を傍聴していると、どの国も言葉では環境保全を叫びながらも、主張の根本が「商業ベース」であることに気付いた。いかに自国の利益を優先するかの駆け引きが延々と続く会議で、何一つ対策に前進が見られない。この状況を目の当たりにした竹宮さんは「こんな会議で何も決められるはずがない」と感じ、頬にはいつしか涙が伝った。

「人間には地球を救えないかも知れない」と、絶望をも感じた。しかし同時に、自分の中にふつふつと使命感が湧きあがってくるのを感じた。「私が自分の作品を通じて、現代社会が抱える様々な問題をマンガで訴えて行かなければいけない」と心に誓った。

精進料理と
眺望清逸の宿
千二百年の時空を越え
大いなる自然と、
自らの心に向き合う。
街の喧噪から
わずか二十分の
聖域のなか…。
[宿坊] 国際観光旅館 比叡山 延暦寺会館
〒520-0116 滋賀県大津市坂本本町4220番地
TEL.077-578-0047　FAX.077-579-5053
「ご予約の際は専用電話番号 077-578-0553 におかけ下さい」
[延暦寺会館ホームページ] http://syukubo.jp

マンガは

先日放送された「比叡の光」収録の様子

マンガは娯楽？

「私の作品は他の方の作品に比べてメッセージ性が強く、敬遠する人も多いんです。マンガは娯楽であって、そういうものでは無いという反対意見も多いですから」と、竹宮さんは言う。確かにマンガは一般社会においてサブカルチャーとして軽視されている傾向が強く、誰でも子供の頃マンガを読みふけっていると、母親から「マンガばっかり読んでないで、もっと文章を読みなさい」と、怒鳴られた覚えがあるはず。しかし、それから数十年以上を経た現在、こと私たちの記憶に刻まれているのは、あれほど詰め込んだ教科書や学術書の文章では無く、皮肉にも幼い頃に読んだマンガのワンカットの映像が鮮明に記憶に残っているのではないか。また誰でも、学生時代に「古典文学」や「日本史」などの流れを歴史マンガで学び、試験中にそのマンガのページを無理やり脳裏に浮かべ、何とか落第点を乗り切った経験があるのではなかろうか。

感覚的に印象を刻む

著書の中でいくつかの「古典文学」をマンガで描いた竹宮さんによると、「古典や日本史のマンガを描く時には、わざと記憶に残りやすい印象的な描き方をするんですよ」とのこと。マンガといえど、実は、高度なテクニックが駆使され、印象的に描くことによって自分が訴えたい事を直接感覚的に相手に伝えることが出来るそうだ。竹宮さんいわく「私は、言葉を巧に扱うことができないので、政治家や作家にはなれないんです。その上、私の思いや社会に訴えたいことを本にまとめても、なかなか読んでは貰えない、それがマンガだとあっと言う間に読者に気持ちが伝わるんです」とのこと。確かに「絵画」は会話や文字と違い、一瞬にして人の脳裏に感覚的に印象を刻むことができる。前述の歴史マンガで試験を乗り切った話などはその典型的な例であろう。その上、マンガは言語とは違い、そこには言葉の壁も国境も存在しない。

情報を視覚で伝える

竹宮さんのお話を聞くと、アメリカ航空宇宙局（NASA）が1972年に「パイオニア計画」によって打ち上げた宇宙探査機パイオニア10号の話を思いだす。

太陽系外へと旅立つパイオニア10号には、1枚の金属板が取り付けられており、そこには人間の男女の姿や大きさ、また探査機の故郷である地球に関する情報が絵によって描かれ、いつの日か異星人と遭遇した時に、地球の情報を視覚で伝達できるようになっている。

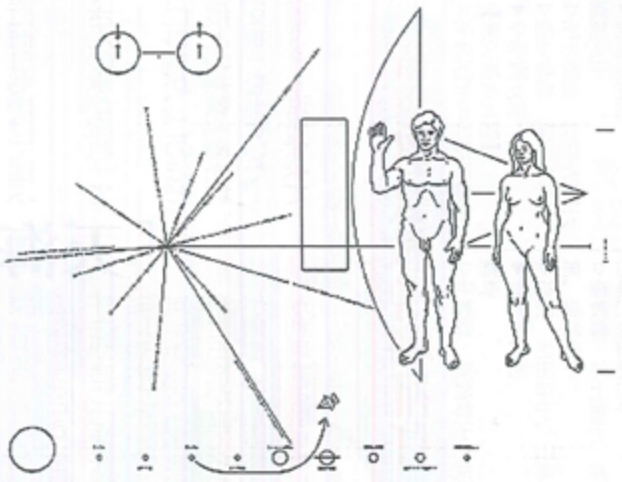
これは、情報を絵で描くことにより、言語の概念を越えた宇宙空間においても、視覚を通じ情報を共有しようとする試みであり、このことからも、「伝えたい情報を絵で訴える」ということは、人類が考える上で、最もシンプル、かつ効果的な情報伝達方式ではないだろうか。

マンガを通じた人材育成

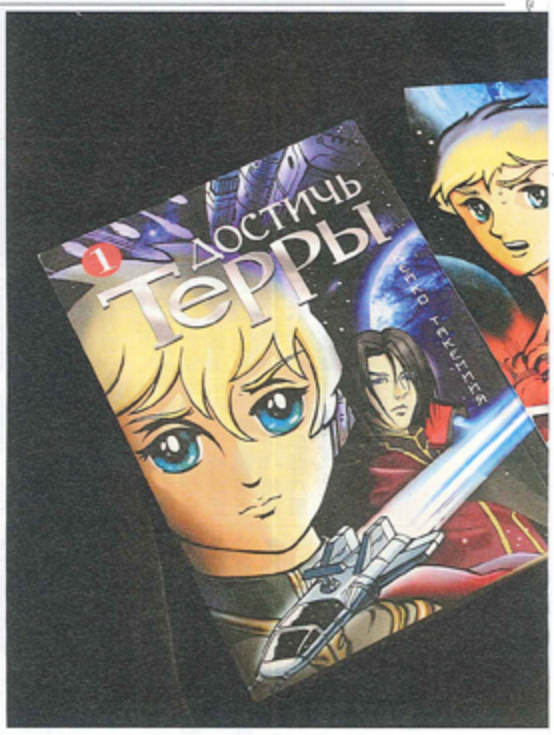
かつては子供や「オタク」と呼ばれる一部の人々に限られていたマンガの文化も、今では世界中の人々に読まれ、現在では「クール・ジャパン」という言葉にあらわされるように我が国が世界に誇る産業として各国を席巻し、好評を得ている。そのため京都精華大学にもマンガを学ぼうと、あらゆる国と地域から留学生が集まって来ている。

竹宮さんは「マンガ学部」の授業で、学生にマンガを書く技術のみを教えるのではなく、様々な分野について多岐にわたる内容の授業を行っている。

「マンガは、常に社会の世情を反映しています。つまり社会の情勢をよく知らなければ良いマンガは描けない」というのが竹宮さんの持論で、その中には自身の経験から「マンガ家は自営業である」ということを学生に自覚させるため、経営学の講義も含まれており、学内ではまさに、「マンガを通じた人材育成」が日々研鑽されている。



パイオニア10号に取り付けられた金属板。機体に対する人間の大きさや、天の川銀河における地球の位置等が刻まれている



あらゆる言語に翻訳され世界中で愛されて

教室では、夢に向かい研鑽が重ねられる

最先端の情報伝達ツール

文字の興りは、太古の昔、広い大陸において言語で情報伝達を行う際、どうしても人々の往来が少ない各地方において、「訛り」や、「異なった言語」になってしまうため、一つの意味を持つ対象物を異なる言語間でも共有できるよう生み出されたと云われている。

つまり、漢字で例えるなら、「人」という文字は、各地域でどんな呼ばれ方をしようとも、漢字の「人」という文字によって「人間」という意味を一目で認識できるようになった。

そもそも文字の興りは絵画をデフォルメさせた象形文字が始まりと云われている。絵が文字となってシンプルに表現できることにより、絵を書くことに比べて大幅に時間を短縮することが可能で、一度に大量の情報を伝達できるようになった。

しかし現代の世界においては、多くの情報を必要としない場合、逆に文字で伝えたいことをマンガにすることによって、イメージや文字では伝えられない思いや気持ちを文字・言語の異なる世界中の地域に、あっと言う間に伝えられることができる。

こうして「やさしく、かつ分かりやすい」マンガが最先端の情報伝達ツールとなりえた。

いつの日か『般若心経』を

竹宮さんの作品は、現在世界中の言語に翻訳され、国境を越え愛読されている。

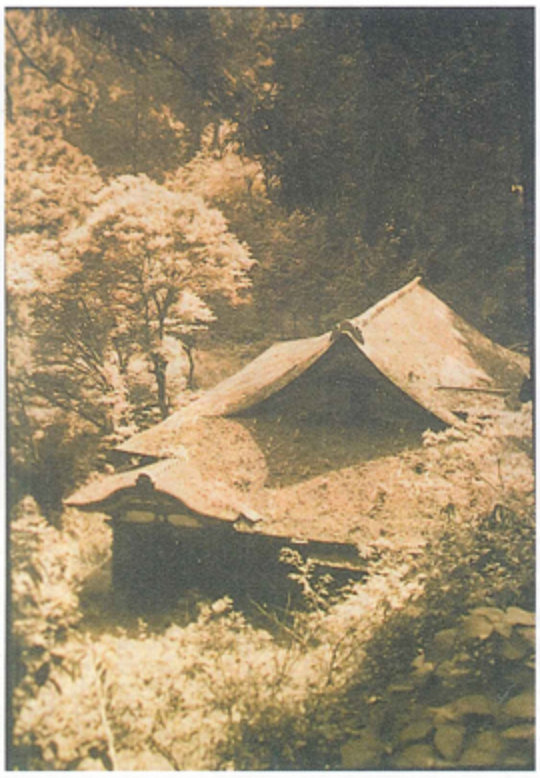
あの日の「環境サミット」で涙し、誓った思いは、これからもマンガを通じ、世界中の人々を教化していくことだろう。

竹宮さんは、「最近学長に就任したばかりで忙しい毎日を送っていますが、いつの日か『般若心経』の世界をマンガで描いてみるのも面白いですね」と、語ってくれた。

マンガを描く行程

瞻仰尊顔

瞻仰尊顔（せんごうそんがん）…法華経の一節。お人柄を敬い慕い仰ぐこと



写真・文　福田徳衍

江戸草創期の名僧、慈眼大師・天海大僧正（？～1643）は、福島県会津高田に生まれ、11歳で出家し随風と称した。その後、叡山の実全に学んだと伝える。

江戸幕府初代将軍家康、二代秀忠、三代家光から大きな信を得て、信長による焼討で壊滅した延暦寺の再興に尽くした。根本中堂、大講堂（のちに焼失）、文殊楼は天海が将軍家光に願って再建した国家的事業の巨大伽藍である。

写真は、天海が山上の東塔・南谷に住まいした南光坊（元は法性坊と称した）。撮影したのは昭和26年5月頃で、私は中学生であった。

雨漏りがひどく、無住だが、内部は台所、三和土が広い僧坊で、大きな仏間には諸尊が祀られていた。南光坊を壊すため仏像や仏具などを、谷底から雪が消えた頃を見計らって、南谷に属す唯一の寺だった西尊院堂に何日も掛けて運ぶ手伝いをした記憶がある。

それから「橋の下をたくさんの水が流れ」て半世紀がたった。

私の甥、日光律院の中川仁喜君が、このほど宇高良哲・大正大学名誉教授との共著「南光坊天海発給文書集」（吉川弘文館）を出版した。天海自ら発給し現存する文書388通をすべて複写して翻刻するという地味な作業を続けて上梓した472ページの大作で、定価は1800円なり。

仁喜君はデジタルカメラが普及する前からこの作業に着手していたので、私は愛用の複写用マイクロレンズをプレゼントして少々の協力はしたのだが、冥土で大喜びしているのは仁喜君の祖父、故・福田実衍に違いない。実衍師は天海ゆかりの目黒・大円寺に住し、埼玉・川越の中院の院代を務め、叡山山麓の慈眼堂にも住まいをしていた時期がある。

そぐき　しょうじき　ひゆ　だらに
おりおり　ごかふう　あそばざるべし

「天海さんのお歌です。これが健康維持の極意」と、法話のたびごとに披露していた。

さて、南光坊の内部も写した記憶があったが、探せどもネガが見つからない。大きな風呂敷で仏像や台座などを包んでは、細い山道を運んだ。汗をかきつつ坂を登る私の足下にはエイザンスミレやホウチャクソウが咲いていた。その後、何年かして「慈眼大師旧跡　南光坊跡」と書かれた石柱が立てられた。やがてドライブウェイが開通し南光坊跡は現在、延暦寺職員や関係者が利用する駐車場になっている。

「天海の住処、南光坊」

天台真盛宗西教寺

恵心僧都御遠忌法要を厳修

法要には2000人が参列

比叡山麓坂本に建つ、天台真盛宗総本山西教寺（西村岡紹管長）では4月3日より7日までの5日間にわたり、恵心僧都一千年御遠忌大法要が盛大に営まれた＝写真。

恵心僧都の一千年御遠忌の御祥当年は、本来なら再来年の平成28年に迎えるが、天台真盛宗では、昨年の平成25年、西教寺30世真朗上人により、天台宗真盛派として別派独立後135周年を迎えたことを機に、御遠忌実行委員会を組織。宗祖御忌会、真朗上人報恩謝徳法要、法華千部会と合わせ、今般の大法要奉修への運びとなった。

6日には、延暦寺より武覚超執行と水尾寂芳教化部長が来賓として出席、稚児150名を含めた総勢500名が、境内を華やかに彩る大練法要会が執り行われるなか、本堂において西村管長を大導師に、恵心僧都作と伝わる『六道講式』を以って、御遠忌法要を厳修した。

堂内では他宗派諸大徳を始め、約2000人の参列者が、ご本尊の阿弥陀如来を御前に共に念仏を唱え、往生極楽を願った。

恵心僧都尊像に焼香を手向ける西村管長

福聚教会教導職補任

＝平成25年6月12日付＝
【東京地方本部】
▽千手院支部
▽権少教導　藤田千代子
▽正大教導　有江よし子、髙橋久子
▽宝泉寺支部
▽権少教導　小木曽和子
▽正大教導　久保田ヨシ子
▽新清支部
▽正大教導　村田千枝
▽大泉寺支部
▽新教導　大野喜子
▽天王寺支部
▽少教師　大塚裕美子、大野美子、中村京子、末廣綾子
▽練師　末廣久美、森岡まさ子
▽安養寺支部
▽准練師　木村江利子
▽西光寺支部
▽正中教導　長谷麗子
＝平成25年7月3日付＝
【三岐地方本部】
▽津本願寺支部
▽初伝　日置留里子
▽権中教導　上村照子
▽中教導　東尾恭子、荒井眞道
▼本願寺支部
▽初伝　芝田洋子、山崎好美、島崎恵子
▽権教導　井上朝子、井上初美、内田美知子
▽新教導　内田喜代子、内田登子、内田花栄、内田登子、井上幸子、井上美知子
▽坂下眞知子
▽権中教導　東きよ、川口知栄、平子ちゑ子、中野陽子、坂本京子、蛭澤幾代
▼常住寺支部
▽大教導　三山三重子、三山勝子
▼神戸西方寺支部
▽初伝　家里由子、亀岡和歌子、若山知佐子、竹島正子、西口敬子、亀山喜美子
▽権少教導　阿部美智子
▼願成就寺支部
▽少教導　國光洋子
▼國分寺支部
▽少教導　佐藤一美
▼吉祥院支部
▽少教導　阿部弘子
▽少教導　福森美子、松井都代美、永濱美枝子、森永喜三子、稲葉賀世
▽権中教導　吉岡千代、藤江晴子、中西寿美子、高岡房子、岡井政乃、梅川關子
今中照子
▼佐那具西方寺支部
▽初伝　紫雲智善
▼常住寺支部
▽中教導　古川喜代子、西山登志子、南出範子
＝平成25年7月16日付＝
【九州東地方本部】
▼善正寺支部
▽初伝　梶原順子、草村美智子、山口千鶴子、久我和代、大塚康子
▽試補　野中鶴代
▼應暦寺支部
▽初伝　大嶽由美子
▽新教導　藤原美由紀
▼観音院支部
▽権少教導　阿部美智子
▼願成就寺支部
▽少教導　國光洋子
▼國分寺支部
▽少教導　佐藤一美
▼吉祥院支部
▽少教導　阿部弘子
＝平成25年7月19日付＝
【信越地方本部】
▼本部直属支部
▽試補　小山奈保、関口智美、柳澤麻衣、山ノ井邦子
松田愛絵
＝平成25年9月11日付＝
【福島地方本部】
▼龍興寺支部
▽正大教導　筧恵美
▼圓龍寺支部
▽練師　菅原もとみ
【栃木地方本部】
▼習音寺支部
▽権少教導　矢島貞信
【埼玉地方本部】
▼東光寺支部
▽少教師　加島仁子
【南総地方本部】
▼石堂寺支部
▽大教導　坂本親隆
【滋賀地方本部】
▼無窮閑楽舎支部
▽権少教導　三溝昭英
▽正少教導　寺井信子、斉藤十七枝、冨田啓子
▽中教導　西艶子
▽権大教導　藤田和子
▽初教　山尾友子
▼大正寺支部
▽准少教師　山形由奈
▼東光寺支部
▽中教導　志井智子
▼真迎寺支部
▽正中教導　辻井敦子
▼華開寺支部
▽正中教導　藤支聖子
【兵庫地方本部】
▼三部叡讃支部
▽正大教導　清水谷法加
▼西沿観音寺支部
▽正大教導　佐藤華子
▽応聖寺支部
▽正大教導　桑谷夏代
▼妙德支部
▽准師範　大塚祥子
【丹波地方本部】
▼白毫寺支部
▽正大教導　上田はる乃、木下芙美子
▽准大教師　荒礒法子
▼福林寺支部
▽正大教導　樋口清美、藤田彌生、藤田初美、西山禮子
【岡山地方本部】
▼圓珠院支部
▽中教導　土屋富子
▼本性院支部
（次頁へつづく）

時報 俳壇・歌壇

俳壇

・雑木山芽吹促す春の雨
——群馬・飯田清子
・花冷えや御修法お練り凛として
——山形・後藤雀台子
・泰山木咲くを見上げて祈る日々
——滋賀・小林章子
・そよとの風経読み鳥に浸りけり
——千葉・渡邊俊響
・看経の声朗朗と彼岸講
——宮城・山中きよ子
・連翹（いたちぐさ）や古寺にいかつい鬼瓦
——大分・廣瀬邦照
・新樹光木々の目覚めの匂ひ立つ
——兵庫・和田由美子
・限り無き命覚めむ春の土
——茨城・額賀ゆき子
・町医者の待合室や春兆す
——群馬・今村堂雨

歌壇

・春ひと日願いかないて深大寺秘仏を拝し時惜しみ去る
——群馬・高山恵美子
・耕せば一塊の土日を受けて今黒々と光輝く
——兵庫・松本精司
・新緑の山間に進む白浄衣行者の姿いともまぶしき
——滋賀・みのる

（皆さまからのご投句をお待ちしております）

この経本は『基本読誦用 総仮名付き 妙法蓮華経』の姉妹本で 裕 慈弘師纂修「天台宗聖典」所収の妙法蓮華経を底本とし、現代仮名遣を用い、勤行や法要に活用出来るよう配慮して編集した

法華経読誦普及会

読みやすい 意味が解る お経（寺院・在家用）

訓読 妙法蓮華經 総仮名付

A5判 八〇〇頁 全一冊
定価 上製本 一二、〇〇〇円
普及本 六、八〇〇円
（送料実費）

仏書林 芝金聲堂
京都市中京区二条通河原町東入
〒604-8012 電話〇七五(二三一)五〇三一
振替 00930-8-64593

天台宗務庁　総本山延暦寺御用達
お珠数専門の老舗
小野珠數店
小野嘉助
〒604-8045 京都市中京区寺町通蛸薬師下ル
電話(075)221－2608番
振替　京都9－2582

叡山講福聚教会ニュース

祖師方と先人へ感謝の詠舞奉納

「福聚の日」報恩法要奉修

80名が参加し追善の供養

顕彰碑前で法楽が行われた

快晴に恵まれた4月24日、延暦寺阿弥陀堂と大講堂では福聚教会会員物故者を偲ぶ回向法要とともに、宗祖に報恩を捧げる詠舞奉納が行われた。

この4月24日は「福聚教会の日」と定められており、毎年各地から登山された会員方による法要への随喜、ご宝前での奉詠舞が行われている。

境内各所に桃色の石楠花が咲き誇った今年の福聚教会の日は80名の会員が参加した。

阿弥陀堂での回向法要では教会発展に尽力された先人方に対し香を手向けるとともに追善の詠舞奉納が行われ（写真上）、続いて堂前に建つ福聚教会顕彰碑前にて法楽が執り行われた。その後一行は大講堂へと移動し宗祖、各祖師方のお姿の御前で詠舞を奉納。感謝の気持ちを込め披露した。

仙波師は福聚教会再興間もなく叡山流詠讃道の道に入門、昭和45年に総本部助講師を拝命され、多くの会員に対し熱心に指導を行われた。

平成12年には総本部顧問に就任され、現在までも福聚教会行事をはじめ各地の法要に数多く出仕されていた。

仙波覺俊総本部顧問がご遷化

仙波覺俊師（せんば・かくしゅん＝滋賀県竜王町・龍王寺住職・大僧正）

叡山学院本科を経て、昭和40年に岡山教区妙音院住職を拝命。同55年より滋賀教区法雲寺、同62年には龍王寺住職に転住され、永きにわたり寺門興隆、信徒教化に努められた。

尚、本葬儀は4月7日に営まれた。

元総本部助講師で現在まで顧問として福聚教会発展に尽力されてこられた仙波覺俊師が4月4日遷化された。世寿79歳。

北総・茨城合同研修会開催

山形、東京からも参加で80名

北総地方本部（弘海高正本部長）、茨城地方本部（酒井貫全本部長）では、成田ビューホテル（千葉県成田市）を会場に、3月25日から2日間の日程で合同研修会及び教導職検定会が開催された。

この合同研修会では、山形、東京より参加した会員も含め約80名が熱心に講義を受けた。研修は両日とも唱詠3教室、舞踊1教室の計4教室が設定され、なかでも本合同研修会で初めて開かれた舞踊教室では、活気が溢れていた。

丸岡昌舜総本部副主査は、「それぞれの良い部分、出来ていない部分をしっかりと捉えて学んでいただきたい」と激励。また、沖縄大会への多くの参加を呼び掛けた。

（前頁よりつづく）

▽権大教導 平田律子【山陽地方本部】
▼明王院支部
▽少教師 前田喜代美
▼圓乗院支部
▽准少教師 守分玲子【山陰地方本部】
▼長昌寺支部
▽正少教導 木村俊視
▼禅定寺支部
▽正大教導 内田正子【九州東地方本部】
▼昌元寺支部
▽試補 今村道子【九州西地方本部】
▼大興善寺支部
▽練師 神原満子
▼修学院支部
▽権大教導 埜口久美子
▼延寿寺支部
▽正大教導 藏原靖子＝平成25年10月8日付＝【山陽地方本部】
▼清水寺支部
▽試補 新田顕子
▽新教導 正田晴子
▽少教導 高森マキ江、田村いさ美
▼明王院支部
▽試補 畝田三枝子、筒井三恵子
▽権少教導 吉田愛子、山下和子
▽少教導 藤原洋子
▼圓乗院支部
▽権少教導 守分玲子
▽正少教導 福武明子
▽権大教導 柚木敏子
▽大教導 大嶋敬子
▼泉勝院支部
▽少教導 坂本一代
▽正中教導 大野雅子
▼惠門院支部
▽大教導 森田宗子＝平成25年10月17日付＝【南総地方本部】
▼坂水寺支部
▽権教導 松本喜美子、江澤君江
▽新教導 岩瀬好子
▽少教導 森田芳江
▽権中教導 泉洋子
▽大教導 塚本梅子、吉田昭子
▼行元寺支部
▽初伝 長谷川孝子、中村正子、牧野春美
▽新教導 久貝かず子、森川桂子、田邉智子
▽権少教導 牧野英子
▽権中教導 清水菜
▽中教導 塚越恵子、清水守
▽正中教導 磯野かつえ、伊大知弘
▽権大教導 戸村トシ子、太田洋子、三上英子
▽大教導 日置富子
▼長光寺支部
▽試補 斉藤晟
▽権教導 鶴岡くみ子、吉野堯慶
▼能満寺支部
▽権大教導 髙師めぐみ、田口かづ子
▼妙音寺支部
▽初伝 櫻井貴久恵
▽試補 木原京子、髙梨美恵子
▽新教導 大野みゆき、金井秀子、中村アキ
▽権少教導 三上ふみ子
▽少教導 芝井欣子
▽正少教導 滝沢早智子、曽我野博美、君塚恵美子
▽中教導 大谷初子、石井文子、崔岡和子、鈴木千恵子、髙梨慶子
▼石堂寺支部
▽正少教導 小坂博子、小坂眞子、加瀬末枝、萩野昌子
▼妙覚寺支部
▽試補 金坂信子、宇野昌子
▼方広寺支部
▽権中教導 相葉美代子、亀田恭子、川名節子、川名節子、川名美登里、四野宮文枝
▽中教導 坂本知海
▼般若寺支部
▽試補 土橋みどり
▽新教導 有山公子
▽権中教導 佐貫敞江、松本妙子
▼常福寺支部
▽権少教導 熊切孝子
▽権中教導 中村美代子、鈴木篤子、古市栄
▼眞福寺支部
▽権少教導 奈良直美
▼円明寺支部
▽初伝 田中弥生、長谷川富永
▽権少教導 小安君枝
▼飯縄寺支部
▽試補 中社福次郎
▼宝性寺支部
▽初伝 三神千枝子、岡村真理
▽試補 江澤弥生、滝口とみ子
▽権少教導 山口富士江【北総地方本部】
▼東栄寺支部
▽新教導 一色朝美
▽中教導 加瀬恭子＝平成25年10月28日付＝【岡山地方本部】
▼本性院支部
▽権教導 中村圭子
▽権少教導 守本敏美
▽正少教導 原田和子、原田良子
▽権中教導 原田清子
▼圓珠院支部
▽少教導 藤沢宣子
▽正少教導 藤沢秀子、岡辺惠子、小笠原久子、田中千代子、黒川三枝子、應本敏惠、岡田惠子、平井定子
▽准大教師 赤沢冨子
▼龍城院支部
▽権教導 浅野ユキ
▽少教導 吉本知枝、大島佳子、髙田博子
▽中教導 大島敏子
▼石山寺支部
▽権大教導 青野マスミ
▼永案寺支部
▽中教導 影山萬知子
▼圓融寺支部
▽権大教導 渡辺政子、本山すみ子、数田好子、実村介子、近藤順子＝平成25年11月7日付＝【兵庫地方本部】
▼天唱会支部
▽初伝 西川慶円
▼三部叡讃支部
▽中教導 叡南智代子
▼妙徳支部
▽初伝 中塚みや子
▽権教導 大塚善仁、大塚悠梨、牛尾邦子
▽正中教導 柳田勝子
▼實性院支部
▽試補 武部邦子
▽権教導 中井三枝子
▽新教導 木畑弘美
▽権少教導 中安勝代、塚本美紀、上阪つやを、中井早代子、山元五一郎、根岸裏明

（次回につづく）

新製品 大型朱肉セット

表面に凸凹ができにくく、硬軟の変化もありません。完全布張りのため、めづまりがなく色鮮やかに捺印できます。又、印影は水に流れずいつまでも変退色致しません。補充用朱の油は、御使用に便利な塗布用キャップつき容器です。是非とも御採用御下命賜りますようお願い申し上げます。（送料は実費申し受けます）

大型	29センチ×25センチ	20,000円
中型	28センチ×19.5センチ	17,000円
小型	19.3センチ×12.7センチ	10,000円
塗布用キャップ付容器入 800g		8,000円

佛事用品奉製
むらかみ
〒591-8022 大阪府堺市北区金岡町3001-25
電話（072）258－0122番
振替 大阪 7－22352番 むらかみ

奥比叡

●延暦寺三塔をめぐり、一日をゆっくりすごせます。
●参拝モデルコース
京都大津－延暦寺東塔－西塔－峰道レストラン－横川－ぴわこ大橋 雄琴－栗東I.C－大津
●びわ湖を眺めながらの喫茶お食事は
比叡山峰道レストラン
500名様客席、団体予約承ります。
お問合せ 奥比叡ドライブウエイ
TEL 大津（077）578－2139㈹

一善小僧！

NO.134 作:そんりん坊

大講堂で栄西禅師遠諱法要
5月7日には座主猊下が建仁寺へ
臨済宗建仁寺

本年6月3日より奉修される、日本臨済禅の祖、栄西禅師（1141〜1215年）の800年遠諱慶讃大法要を柱とし、平成23年より臨済宗建仁寺派大本山建仁寺（京都市東山区）で相次いで執り行われている「開山栄西禅師800年大遠諱慶讃行事」。

4月17日にはこの行事の一環として、栄西禅師が修行された延暦寺の大講堂において、小堀泰巌建仁寺管長大導師のもと、「延暦寺大法要」が厳修された。

法要は午前11時より始まり、建仁寺を始め南禅寺の雲水を合せた43名が出仕。約90名の檀信徒が参列するなか、禅宗様式の法要を以って修された＝写真。

続いて午後1時には、新たに整備された栄西禅師ご修行の旧跡に場所を移し、落慶法要が執り行われた。

比叡山延暦寺では、来たる5月7日、建仁寺において、半田孝淳天台座主猊下大導師のもと、胎蔵界曼荼羅供を以って遠諱法要の執行が予定されており、本紙では、6月号見開き特集で詳細を報告する。

墓参30周年を記念
国府史跡保存会が整備
紀貫之碑

整備された紀貫之碑

高知県南国市に本拠を置く国府史跡保存会（公文正博会長）による、同市に所縁がある『土佐日記』の著者、紀貫之卿を顕彰するための「比叡山への墓参り修行旅行」が、本年を以って30周年を迎えた。

同会ではこれを記念し、昨年来より紀貫之碑周辺整備事業を行っており、晴れて4月5日、寄贈式を迎えた。

寄贈式には、南国市長より献花が供され、墓石の周辺には、高知県桂浜の五色石が敷き詰められた。墓前では、延暦寺一山圓竜院住職宮本祖豊師導師による回向が手向けられ、公文会長より整備事業目録が延暦寺に贈呈された。

大黒堂で浴餅供奉修
願いこめ餅粥飲み干す

延暦寺大黒堂では、4月16日から4月23日までの8日間にわたり大黒天秘密浴餅供が奉修された。

法要は、延暦寺より既にお授けした御本尊の御分身を希望者より里帰り願い、須弥壇のご本尊「三面大黒天」の元に安置。毎日1日3座、計21座にわたり、五穀豊穣・商売繁盛が祈願された。

初座の4月16日には、全国から約30名の信者が随喜するなか、延暦寺一山総持坊住職山本光賢師が行者となり開闢の修法を勤めた。

法要後には、修法に用いられた餅粥が参列者に配られ、それぞれが願いを込め、飲み干していた＝写真。

生源寺で花まつり
お釈迦さまの御生誕祝う

大津市坂本の生源寺では、4月8日、釈尊の御生誕を喜ぶ「花まつり」が延暦寺僧侶によって執り行われ、法要を営んだ。

午後の法要に先立って、天台第1団ボーイスカウト第12団により編成された鼓笛隊を先頭に、約50名が滋賀院門跡から生源寺までの坂本の町を約2キロパレードし、まつりを華やかに彩った。

パレードの進行と同時に、境内にはたくさんの子どもたちが集まり、鼓笛隊と合流し共に入場した大津市仏教会の代表を皆で迎え、花まつりの式典を行った＝写真。

式典後は、堂内にて般若心経を読誦。お釈迦様に花を捧げた子供たちは、真嶋全康比叡山幼稚園園長の法話に熱心に聞き入っていた。

時報ニュースフラッシュ

4月の座主猊下

1日国祷会（根本中堂）・本山交衆生遂業式、住職辞令親授式（大書院）／4日〜11日御修法（根本中堂）／14日山王祭正式参拝（日吉大社）／15日阿弥陀堂例月回向（阿弥陀堂）／16日住職辞令親授式（滋賀院）／20日山家会講経論義（大講堂）／21日山家会金剛界曼荼羅供（大講堂）

▼戒壇院で広布薩会執行

菩薩僧としての反省と自覚を再確認するための重要な法儀、広布薩会が4月16日、比叡山戒壇院において執行された。

広布薩会は、平成20年3月27日、開宗千二百年慶讃大法会を機に第一回が行われてから、本年で6回目を数えた。

▼岡山浄土寺が清掃奉仕

4月19日、岡山教区浄土寺（枝川円晋住職）の婦人会である和光婦人会（岩藤安子会長）約20人が比叡山横川如法塔周辺の清掃奉仕を行った。同会では毎年本山の名所の清掃奉仕を実施しておられる。

▼恵亮忌奉修さる

平安前期に西塔の興隆に尽力された恵亮和尚を偲ぶ法要が、4月26日10時より恵亮堂において、金台院赤松光真大僧正導師のもと、法華三昧を以って執行された。

修力霊験に優れた和尚は京都に妙法院を創建されたことでも知られる。

示寂先徳

神谷亮秀師（かみや・りょうしゅう＝東京都台東区・不動院住職・大僧正）平成26年4月5日遷化。世寿67歳。

大正大学を卒業後、昭和44年に不動院住職を拝命。声明法儀を中心に実践仏教の指導者として大正大学や武蔵野大学などで教鞭を執る傍ら、宗典編纂所編纂研究員、中央教師検定会委員など教学部門の宗内要職を多く歴任された。

ハーイ本番です！
<257>

KBS京都アナウンサー　塩見祐子

三方よしプラスワン
＜あのひと言＞

滋賀県東近江市、湖東三山を臨む菜の花畑は今が満開。黄色って不思議と元気が出ます。今回のゲストはこの菜の花からエコ活動を展開する菜の花プロジェクトネットワークの代表、藤井絢子さんです。

そもそも活動のきっかけは琵琶湖。70年代、「母なる湖」琵琶湖に赤潮現象が現れました。「まさか！でした。企業とか農業者だけでなく私たち自身が汚していたということがショックでした」。

せっけん運動の高まりで、いわゆるせっけん条例、富栄養化防止条例もできましたが、それだけでは不十分でした。その上、無リン洗剤の登場でせっけん離れが起き、これまでリサイクルせっけんのために回収していたてんぷら油が余ってしまいます。「せっけん運動をベースにしながら、化石燃料を使わない暮らしを提案するにはどうしたらいいか」。

ヒントはドイツにありました。日本で第1次オイルショックの頃、すでに農地に菜種を植えて軽油に使おうとしていたのです。「驚きましたね。食べるためと燃料のために農地を生かしていることに。そこで、てんぷら油を使ってやってみようと思ったのがスタートです。大変でしたけど、何かが始まるというわくわく感がありましたね」。

試行錯誤ののち、本格的に菜種栽培を始めます。「菜の花畑は美しい。昔は26万ヘクタールも栽培されていたのです。だから日本の原風景を取り戻しエネルギーを作ろうと。耕作放棄地などフィールドも整っていました」。

菜の花プロジェクトは全国から見学や問い合わせが相次ぎ、2001年にはサミットを開いて全国ネットワークが出来上がりました。「菜の花を植える、食べる、使った後は燃料に、せっけんに、この循環の仕組みが分かりやすく参加しやすかったんでしょうね。各地域が農業の在り方や地域からの魅力発信など、それぞれに悩んでいたんです」それは全国共通のテーマだったんですね。

「地域の課題は様々。それぞれが工夫をすればいい。ただ、経済的に回らないといけません。持続可能で居心地良くて、お金の多寡でなく心豊かな暮らしやすい地域のためには」。

この運動は近江商人の三方よしの精神がベースだそうですが、藤井さんは「三方よしプラスワン」とおっしゃいます。それは「未来世代よし」であることなのだそうです。

比・叡・の・光

キー局　KBS京都　(日)8：45〜9：00

5月11日放送（キー局）
菜の花が世界を救う ①
5月18日放送（キー局）
菜の花が世界を救う ②
NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク　藤井絢子さん

5月25日放送（キー局）
大師の森を育む ①
6月1日放送（キー局）
大師の森を育む ②
延暦寺一山真蔵院住職　森川宏映大僧正

6月8日放送（キー局）
観音経の心 ①
ハワイ別院住職　荒　了寛大僧正

ネット局名	放送時間
東京メトロポリタンTV	(土)8：45〜9：00
新潟放送	(日)6：00〜6：15
びわ湖放送	(日)7：45〜8：00
ハワイ KIKU	(金)9：15〜9：30
スカイA【スカパー&ケーブルTV各局】※上記の放送を受信できない方は、スカイAをご契約いただくことにより、全国で視聴いただけます	(火)8：45〜9：00

提供　佐川急便株式会社